

## 第 18 回歴史都市防災シンポジウム

日 時： 2024 年 7 月 13 日（土） 10:00～16:50

場 所： 立命館大学 衣笠キャンパス 以学館 + オンライン（Zoom）

今後の社会状況によっては、オンラインのみとする可能性があります。

主 催： 立命館大学 歴史都市防災研究所

参加費： 無 料

参加方法： 事前登録制

（次の URL もしくは QR コードから必要事項を入力して下さい。）



[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScySdquWfpaGhrMRBjQIVzsWHb5n5MqoM\\_T-p5Lim6gXyLphA/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScySdquWfpaGhrMRBjQIVzsWHb5n5MqoM_T-p5Lim6gXyLphA/viewform?usp=sf_link)

プログラム：

時間	特別講演（A 会場 IG301）		
10:00～11:50	「備えと構えの民家史 ー水屋とタカを巡ってー」 大場 修 氏 （立命館大学 衣笠総合研究機構 教授）		
時間	A 会場（IG301）	B 会場（IG302）	C 会場（IG303）
13:00～14:20	A1. 防災技術（1）	B1. 水害・治水	C1. 防災計画（1）
14:35～15:35	A2. 防災技術（2）	B2. 合意形成・リスク マネジメント	C2. 防災計画（2）
15:50～16:50	A3. 空間・環境	B3. 保全・補強	C3. 防災計画（3）

本シンポジウムは、土木学会 CPD（継続学習）制度認定プログラムです。（JSCE24-0726）  
建設系 CPD 協議会のホームページにも掲載されており、日本建築学会など各種団体に相互承認可能な場合がありますので、ご自身でご確認下さい。<http://www.cpd-ccesa.org/>  
なお、土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められない場合もあります。

今回のシンポジウムの受講証明書を希望の方は、終了後にお送りする受講証明書発行依頼書に必要事項と共に受講して得られた学びを 100 字以上で記入頂き、シンポジウム事務局までお送り下さい。  
シンポジウム事務局メールアドレス： [heritage@st.ritsumei.ac.jp](mailto:heritage@st.ritsumei.ac.jp)



【A会場】

A1. 防災技術（1） 13:00～14:20 座長：吉富信太

1. 【論文】伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強効果に与える気温の影響に関する実験研究  
中治弘行，須田達，吉富信太，鈴木祥之，閻崇兵
2. 【報告】伝統的貫構法の構造特性についての考察 ー大阪・関西万博の大屋根（リング）の構造に関連してー  
棚橋秀光
3. 【論文】木材継手の引張強度実験を通じた手加工技術の技能習熟度の定量評価に関する研究  
黒田みゆき，村井ひより，猪口朝加，小原愛美，船戸慶輔，宮田桂，  
鍛冶桃子，持田泰秀
4. 【論文】スマートグリッドによる非常電源供給を見据えた都市に対する電力の有効活用の検討  
福本真史，本間睦朗

A2. 防災技術（2） 14:35～15:35 座長：持田泰秀

5. 【論文】壁土強度と土塗り壁耐力の相関性に関する数値解析  
山田耕司
6. 【論文】各種材料特性から荒壁土の最大圧縮応力度の推定に関する研究  
荘所直哉，早崎洋一，三芳紀美子，角野嘉則，大橋好光
7. 【論文】全面壁に連続する土塗り小壁の耐力評価  
山田耕司

A3. 空間・環境 15:50～16:50 座長：阿部俊彦

8. 【論文】光環境快適指標を目指した照明空間の印象評価手法と評価構造の検討  
下村朋世，本間睦朗
9. 【報告】VR空間における解像度と空間認知の関係性：3D スキャンでアーカイブされた歴史的建造物を対象に  
Kim Joonyoung，山田悟史
10. 【論文】伝統的文化遺産における光環境の在り方に関する考察  
山口慶，本間睦朗

**【B 会場】**

**B1. 水害・治水 13:00～14:20**

**座長：藤本将光**

11. 【論文】重要伝統的建造物群保存地区の水害リスクの実態と対策に関する研究 一矢掛、津山城東、塩田津を対象として－

小藤由瞳，大田勇樹，吉田隼斗，岡井有佳，馬場美智子

12. 【報告】Formation of Modified Flood Resilience Index for Cultural Heritage City

Tanavara Chawanid, Hidehiko Kanegae

13. 【論文】流域空間デザインに関する学生ワークショップ記録のテキストマイニングによる分析 ～亀岡市における流域治水時代のまちづくり国際ワークショップを対象として～

焦英楠，武田史朗，山口敬太，阿部俊彦，花岡和聖

**B2. 合意形成・リスクマネジメント 14:35～15:35**

**座長：花岡和聖**

14. 【論文】防潮堤計画の合意形成プロセスと漁港の空間変化に関する研究 一気仙沼市管理漁港を対象として－

阿部俊彦，廣瀬憲吾，山下博美

15. 【報告】A Study on Disaster Risk Management Institutions and Policies for the Preservation of Cultural Heritage Sites in Central America and the Dominican Republic: Challenges and Opportunities for the CAIS Region

Estrada Hernández Brandon Eduardo, Hidehiko Kanegae

16. 【論文】Mosul's Cultural and Social Heritage Reconstruction after ISIS War

Laura Nicolini

**B3. 保全・補強 15:50～16:50**

**座長：里深好文**

17. 【報告】軍艦島鉄筋コンクリート構造物 65 号棟の経年変化

福山智子，田中章夫，寺本篤史

18. 【論文】損傷したコンクリートの連続繊維シート等による補強後の力学性状に関する基礎的研究

白田太，秀熊佑哉

19. 【報告】伝統的な空石積堰堤の保全に関する基礎的な研究

原田紹臣，藤本将光，里深好文

【C会場】

C1. 防災計画（1） 13:00～14:20

座長：大窪健之

20. 【論文】傾斜の負荷を取り入れた避難シミュレーションに関する研究 —清水寺周辺を対象として—

井上悟郎，宗本晋作

21. 【報告】MR デバイスを用いた文化財の複合現実化による保全活用：長江家住宅を事例として

東田陽樹，山田悟史

22. 【報告】「住みほどき」の観点から行う空き家解体に関する基礎的研究

木村智，清水優真，大場修

C2. 防災計画（2） 14:35～15:35

座長：山田悟史

23. 【論文】今庄宿重要伝統的建造物群保存地区における町並み分析及び防災力向上に向けた予備的考察

平尾和洋，饗庭優樹，大場修

24. 【論文】天水バケツの日常利用促進と設置に向けた課題の抽出 ～多様な主体へのヒアリング調査とワークショップを通じた検証～

弘中希，金度源，大窪健之

25. 【論文】地震火災対策としての既存の防災資源と水路の活用に関する研究 —京都市・御室学区を対象とした延焼シミュレーション—

金度源，佐野杏佳，大窪健之

C3. 防災計画（3） 15:50～16:50

座長：青柳憲昌

26. 【論文】城下町福井の災害と都市構造の変遷

森下雄治

27. 【報告】大阪府富田林市寺内町における延焼リスク分析と自然水利を用いた火災対策に関する研究

浦崎剛，大窪健之，金度源

28. 【論文】歴史地区における地震火災を想定した消火環境整備の提案 ～出石重伝建地区での住民と消防の活動を支えるために～

大窪健之，竹内基起，金度源